5．引当金の計上基準

⑴　貸倒引当金

債権の貸倒れによる損失に備えるため、貸倒懸念債権及び破産更生債権等については個別に回収可能性を検討し、回収不能見積額を計上しております。

⑵　賞与引当金

役職員に対して支給する賞与の支出に充てるため、支給見込額に基づき計上しております。なお、農業技術研究業務勘定、基礎的研究業務勘定、農業機械化促進業務勘定では、運営費交付金により財源措置がなされるため、賞与引当金は計上しておりません。

⑶　退職給付引当金

農業技術研究業務勘定、基礎的研究業務勘定、農業機械化促進業務勘定では、運営費交付金により財源措置がなされるため、退職給付に係る引当金は計上しておりません。民間研究特例業務勘定では、国等からの出向者である役職員については、退職手当も支給しないこととされているため、退職給付に係る引当金は計上しておりません。

また、行政サービス実施コスト計算書における引当外退職給付増加見積額は、事業年度末に在職する役職員について、当期末の自己都合退職金要支給額から前期末の自己都合退職金要支給額を控除した額から、退職者にかかる前期末退職給付見積相当額を控除して計算しております。

6．有価証券の評価基準及び評価方法

⑴　売買目的有価証券

時価法を採用しております。

⑵　満期保有目的の債券

取得差額がないものは原価法、取得差額があるものは償却原価法（定額法）を採用しております。

⑶　関係会社株式

移動平均法による原価法（持分相当額が下落した場合には、持分相当額）を採用しております。

7．たな卸資産の評価基準及び評価方法

⑴　製品

最終仕入原価法を採用しております。

⑵　未成受託研究支出金

個別法による原価法を採用しております。

⑶　消耗品及びその他の貯蔵品

最終仕入原価法を採用しております。

8．行政サービス実施コスト計算書における機会費用の計上方法

政府出資又は地方公共団体出資等の機会費用の計算に使用した利率

10年利付国債の平成29年３月末利回りを参考に0.065％で計算しております。

9．消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式を採用しております。

重要な会計方針の変更

運営費交付金収益の計上基準については、前事業年度まで費用進行基準を採用しておりましたが、独立行政法人会計基準等の改訂に伴い、当事業年度より、業務達成基準を採用しております。

なお、業務の執行状況と運営費交付金の対応関係が明確である活動を除く管理部門の活動については期間進行基準を採用しております。

また、震災対策等突発的に発生した業務については費用進行基準を採用しております。

これにより、前事業年度と同一の方法によった場合と比べて、当期総利益が554,308,895円増加しております。なお、行政サービス実施コストに与える影響はありません。

注記事項

1．貸借対照表

⑴	運営費交付金から充当されるべき賞与の見積額	2,084,822,998円
⑵	運営費交付金から充当されるべき退職一時金の見積額	33,531,901,265円
⑶	国等からの出向職員に係る退職一時金の見積額	103,434,674円

⑷　減損会計に係る注記

①　当事業年度において減損を認識した固定資産は以下のとおりです。

【畜産研究部門那須拠点（栃木）　培養実験室】

ア　減損を認識した固定資産の用途、種類、場所、帳簿価額等の概要

資産名称	用途	場所	種類	帳簿価額
培養実験室	研究業務用	栃木県那須塩原市	建物	16,991,654円

イ　減損の認識に至った経緯

当該資産は、培養細胞の維持管理・継代培養・系統保存の研究用施設として使用してきたが、他施設への集約化により使用しないと決定したため、減損を認識しております。

ウ　減損額のうち損益計算書に計上した金額と計上していない金額の主要な固定資産ごとの内訳

資産名称	種類	損益計算書に計上した金額	損益計算書に計上していない金額
培養実験室	建物	0円	16,991,654円

エ　回収可能サービス価額の算出方法

当該資産の回収可能サービス価額は、売却見込みがないことから使用価値相当額により測定しており、当該資産の使用が想定されていないことから０円として算出しております。

【畜産研究部門　ズートロン】

ア　減損を認識した固定資産の用途、種類、場所、帳簿価額等の概要

資産名称	用途	場所	種類	帳簿価額
ズートロン	研究業務用	茨城県つくば市	建物	24,154,256円

イ　減損の認識に至った経緯

ズートロンは、人工気象条件下における動物の代謝に関する実験施設として利用してきたが、一部の施設について、実験機能の他施設への集約化に伴い使用しないと決定したため、減損を認識しております。

なお、ズートロンの一部施設については、今後も継続利用することとしております。